

大江家累代

| 代 | 名前(法名)、妻、子 | 生年、没年 | 項目 |
|----|---|---|---|
| 初代 | 大江 五郎衛門 範行 法名 蓮台院淨順信士 墓は吉諱寺にあり | 貞享2年(1685) ~ 享保17年(1732)10月8日 48歳 | 住 蛸瀬(大江村) 祖先は藤原氏より出で大友宗麟の時に来りて、中津城下大江郷に住し、爾来久しく此処に居りしが、奥平氏入国と共に医を以て之に仕へ、技量衆に秀で典医の首席たり。ことに敵父雲澤氏の如きは、名声四方に轟き・・・ -大江億司君 下毛郡史(山本艸堂) |
| | 妻 釋妙寿信女 | 明和6年(1769)8月6日 | |
| 二代 | 大江 玄仙 範満、壽漢翁 法名 瑞雲院寿漢居士 墓は本伝寺にあり | 宝永7年(1710) ~ 寛政4年(1792)6月6日 83歳 | 大江家中興の祖と言われる 宝暦8年に家督を相続してから安永9年隠居するまで23年間御殿医を勤める |
| | 妻 肥前の国長崎 荒木伊兵衛 女 法名 圓乘院釈正受信女 | 文化元年(1814)7月15日 | 宝暦4年(1754)長崎で南蛮流(栗崎流)の外科を栗崎道喜~鳥飼道節~嶋田道碩から学び大江道仙(玄仙)への免許状が残されている。 |
| 三代 | 大江 文明 範茂、雲澤 法名 慈照院光瑞信士 墓は本伝寺にあり | 宝暦7年(1757) ~ 文化9年(1812)8月10日壬申 56歳 | 安永9年2月7日に家督を相続 文化7年 隠居 30年間で中津藩医を勤める 百石のお墨付きあり |
| | 妻 岸田谷右衛門の女 法名 願生院釈寿信善女 | 寛政7年(1795)8月8日 | |
| 四代 | 大江 元泉 範古、一伯、定武 法名 雲瑞院恵明信士 墓は本伝寺にあり | 明和5年(1768) ~ 文政8年(1825)11月6日 58歳 | 兄文明の準養子となり 文化7年に 家督を相続 文政7年8月21日 隠居 文化9年 中津藩表御医師を勤める 宝珠院様のお誕生に立ち会う |
| | 妻 とく 肥前国長崎 池尻道仙女 法名 貞順院妙恵信女 墓は本伝寺にあり | 文政3年(1820)11月24日 54歳 | 天明7年(1787) 長崎の整骨医であり、杏蔭齋(きょういんさい)正骨術の開祖、吉原元棟から整骨免許状を授与されている |
| | 子 女ユカ 安雲の光林寺に嫁し、29歳で死す 釈尼妙節 墓は光林寺にあり | 文政2年(1819)7月12日 光林寺に記録あり | |
| | 子 泰安(範宗) 恵界信士 墓は宝蓮坊にあり | 文化8年(1811)8月14日 | |
| 五代 | 大江 玄明 範吉、貫怒、面山 法名 無量寿院圓譽満月面山居士 墓は本伝寺にあり | 寛政11年(1799) ~ 明治10年(1877)12月11日 79歳 | 文政2年(1819)村上玄水の解剖に貫如の名で19歳で参加 文政7年(1824) 家督相続 嘉永2年(1849) 隠居 25年間藩医を勤める 天保7年 参勤交代で御参府に随行 随行記録あり 文政13年 庚寅正月11日 御近習被仰付候 仕事雑帳 玄明自筆による生活全般を記したものあり |
| | 妻 堀左衛門の女(小笠原彈上の御内) 法名 堀 須恵信尼 | | |
| | 子 おりき 国東郡川内村佐野 安東家明(号九華)に嫁ぐ | | |
| 六代 | 大江 雲澤 範治、達義(儀)、幼名 清、寛 法名 清亮院釈明徹居士 墓は本伝寺にあり | 文政5年(1822) 12月8日 ~ 明治32年(1899)10月4日 78歳 | 嘉永2年(1849) 家督相続 慶応4年百石のお墨付きあり 中津藩医を勤める 天保12年華岡医塾大阪分塾合水堂に入門 入門帳に大江達義とあり |
| | 妻 イツ(逸) 村上春海の長女 法名 明朗院釈貞道信女 嘉永2年正月15日 家督相続の年に入籍 | 明治45年1月19日 82歳 | 奥平藩臣略譜集録(下)-高百石御医師大江雲澤 藩医なるも気楽に細民の医療に応じ時に貧しい患家に、米、塩を給す等奇特の行あり、巷間に仁術の主として謳歌さる。 中津歴史--明治6年 中津片端に医学校を創りしとき、校長大江雲澤、教頭大江春水 院長藤野玄洋とあり |
| | 長男 億太郎 | | |
| | 長女 億女 菅沼家へ 法名 報徳院釈尼妙億 昭和18年12月25日 86歳 | | |
| | 四男 億司 五男 億五郎 今津の今津家 今津俊一郎の養子に 六男 億十郎 月岡姓を創 | | |
| 七代 | 大江 億司 範敏 法名 広施院釈慈照居士 墓は本伝寺にあり | 元治元年(1864) 1月5日 ~ 大正8年(1919) 8月10日 56歳 | 明治13年(1880) 家督相続 明治19年大分医学校卒業 明治22年右田力太郎の九州初の解剖に助手として参加 明治29年大分医学校(院長取方)、東京留學衛生学 大分郡史--政治に情熱あり、医学を通じ郡県令に当選、 学校医(町村)、仁を以て衆人声望あり 明治23年二豊新聞社の創設に尽力 下毛郡史-- 明治34年中津町會議員、38年郡會議員43年議長を務める 明治44年県會議員 明治35年郡医師会幹事、中津医師会幹事、大日本衛生会 中津市会副会頭 |
| | 妻 フサ 京都郡大宇行事の士族 明治3年8月8日~明治24年9月4日卒 | | |
| | 妻 ナオ 以首一 宇佐柳ヶ浦中須賀 法名 直心院釈妙澄 明治3年4月30日~昭和19年1月13日卒 | | |
| | 長男 萬三 次男 範治 三男 範道 長女 萬寿子 早折 養女 ロク 安心院の板場氏へ 養子 忠綱 億司の弟億五郎の次男 | | |
| 八代 | 大江 忠綱 法名 仁愛院釈忠賢 墓は本伝寺にあり | 明治43年(1910)4月1日 ~ 平成13年(2001)1月30日 92歳 | 中津市今津に生まれる 東京慈恵会医大卒 小倉市立病院勤務 中津市鷹匠町で開業 太平洋海運でドクターアメリカ、中東、アフリカを回る 北九州市立の第二松寿園(若松、門司) |
| | 妻 愛子 東京 調圓助(出身は朝倉町)の長女 墓は本伝寺にあり | 平成2年(1990)2月14日 75歳 | |
| | 法名 大行院釈尼愛語 | | |
| | 長女 妹尾輝子 福岡市東区在住 次女 大江恵美子 熊本市在住 長男 満 福岡市東区在住 三女 黒木美子 千葉市浦安市在住 | | |